

SawamotoDentalOfficeNews

2015年3月号



日増しに暖かくなり、過ごしやすい季節となりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？
今月のSawamotoDentalOfficeNewsはPMTCについて特集していきます。

●「あっ！歯がツルツルするっ！！」

歯のお掃除といえば、毎日の歯みがき。

まじめにやっているつもりなのに「なぜか歯が悪くなる」という方多いんです。

「いったい何が足りないんだろう…？」そんな不安が頭をよぎったら、ぜひ一度、PMTCにトライしてみましょう。

プラークがすっかり取り除かれた時の歯のツルツル感、お口の爽快感はまさに新感覚。

本当にきれいになった時のお口をあなたの舌で体験してください。

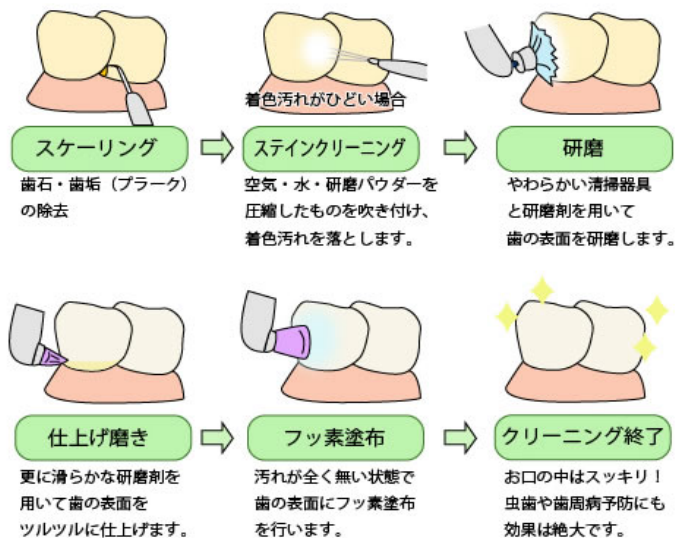
●PMTCって何？

PMTCとは…プロフェッショナル・メカニカル・トゥース・クリーニング(歯科の専門家が器械を使って行う歯のクリーニング)です。
回転する器械にラバー製のチップやブラシを付け、普段の歯みがきでは取りきれない歯間や咬み合わせ面の溝、歯ぐきのキワなど細部に付いたプラークを専門的に除去します。



●予防にも治療にも

歯を研磨するというイメージも強いですが、本来の目的はなんといっても プラークコントロール。現在、清掃用のペーストには研磨性の高いものから研磨剤無配合のものまでさまざまな種類があり、エナメル質が薄くなっている患者さんには修復作用やコーティング作用のあるペーストを、被せ物の多いお口には粒子の細かいものを、むし歯になりやすい方にはフッ素含有量の高いものを、歯周病になりやすい方には殺菌薬入りのものをなど、患者さんの目的に合わせて、何段階ものきめ細かな選択を当院はしています。むし歯や歯周病を引き起こす病原菌をしっかりと取り除き、新たな汚れが付きにくいように歯の表面をツルツルに整えるので、予防だけでなく、治療にとっても欠くことのできない処置となっています。



●入れ歯だってPMTC？！

メンテナンスにいらっやっって患者さんがPMTCを受けている間、入れ歯もしっかり洗浄させていただいています。

プラークが取れて気持ちがいいだけでなく、高齢者に多い誤嚥性肺炎の予防になります。

高齢者になって飲み込むときの筋肉が衰えてくると、食べ物や唾液が間違っって気管に入ったときに「むせ」が起こりやすくなります。余計なものを気管に入れないようにする防御機能が低下してしまうのです。

寝ている間など、気が付かないうちに唾液や食べカスが気管に入り込むと、口の中の細菌が肺に達し、誤嚥性肺炎を起こしてしまいます。

現在、肺炎は日本人の死因第4位。90歳以上の方ではなんと第2位です。汚れたままの入れ歯を使っていると、その分、誤嚥性肺炎のリスクも当然高くなります。

高齢者の患者さんの健康維持には、入れ歯の丁寧な洗浄がとても重要です。